ノ概要

調停者ノ職業氏名	浦賀警察署長警部 宮川靜摩
調停中立者ノ有無及其ノ種別	
要求事項	一、漆原銀藏 日給一円二十銭ヲ二円五十銭ニ 斉藤要藏 〃 一円六十銭ヲ一円八十銭ニ 一宮一之 〃 一円七十銭ヲ二円二十銭ニ 中村忠雄 〃 一円四十銭ヲ一円九十銭ニ 右ノ通リ昇給サレタシ 一、十二月三十日、一月四日ヲ半休トサレタシ 一、年末賞改善サレタシ（缺損ノ場合ハ年通算三十日分支給サレタシ） 中村忠雄退職手当爭議中費用四百円會社支出セラル、樣致度意見ハ一月十六日労働組合代表ヨリ仲介ニ意見ヲ開陳シ此金額ヲ支出セザル限リ爭議ヲ継続スル意見ナリシモノナリ
調停ノ結果ガ關係勞働者ノ勞働條件ニ及ボス影響	
調停ノ開始年月日	昭和十一年一月十六日
調停ノ成否及其ノ年月日	成 昭和十一年一月二十日
調停條件（解決條件）	覺書 前文略 一、中村忠雄ノ勤労賞與其他トシテ會社ハ仝人ニ金二百三十円ヲ即時交付スルコト 二、從業員漆原、斉藤、一宮ノ三名ニ對シ會社ハ一月分ノ公休日及全休日數トシテ日給六日分ヲ夫々支給スルコト 三、斉藤、漆原、一宮ノ三名ハ本件解決ノ翌日ヨリ出社シ會社ニ對シ忠實ニ就労スルハ勿論會社ニ於テモ紛糾アリシ事ヲ理由トシテ之等從業員ニ對シ差別的待遇ヲ為スガ如キコトヲ決シテ為サザルコト
調停ノ結果ニ對スル當事者、當事者以外ノ勞働者事業主其ノ他第三者ノ感想	

爭議発生ヲ見ルニ至リシ事情及其経過並ニ調停解決ノ概要

労働團体加盟者中村忠雄外三名ハ賃銀値上方並從前一人當リ平均三十余ノ賞與ヲ日給三十日分ニ相当ノ額トセラレ度等歎願スルニ至レルモ會社側ニ於テハ事業成績ハ從前同樣変化ナキヲ理由トシ是ヲ拒否スル態度ヲ執レルニ至レリ、此処ニ於テ從業員ハ組合ニ事情報告對策協議ニ移ル此報ニ接シタル京浜支部ニ於テハ支部長小野塚清吉外幹部ニ名出張シ十年十二月二十日ヨリ是等代表者直接交渉ニ当ル、其ノ結果會社側ヨリ事業決算報告提出ニヨリ労働賃銀ヲ値上スル事ハ労資共倒レノ結果ヲ招来スル事由ヲ認識スルニ至リ組合側ノ要求不当ト認メ全年十二月二十八日歎願書ヲ取消ス事ニナリタリ、当時主謀者ト目サル、中村忠雄ハ保証人タル會社從業員板倉萬兵衛ノ意見ニ基キ會社ヲ辞スルコト（重役ニ於テ引取リ世話スルコト）ニナルヤ、首謀者ヲ馘首スルモノナリトシテ復職ヲ迫リタルモ中村ノ退社ハ重役ノ厚意ニヨリ生活ニ何等脅威ナキヲ知リ其ノ了解セルモ中村ノ退職手当爭議費用等ヲ會社ニ支出方ニ付四五〇円